

あそぼう

人と人、
人と社会をつなぐ

vol.
112





令和5年3月25日発行
育成会ノート



目次

- P2 ▶ 子ども会に入ろう!
- P3 ▶ 令和4年度主催事業の報告
- P4~5 ▶ 防災特集
- P6 ▶ 兵庫県・おいしいごはんを食べよう県民運動
- P7 ▶ ひょうごのお出かけ情報! 「ネスタリゾート神戸」
- P8 ▶ 兵庫県立図書館だより

子ども会の皆さまへ
このノートは

-  かならず読んでください
-  日常活動で活かしてください
-  ファイルに残してください
-  各戸回覧してください



子ども会に入ろう

子ども会は ^まち ^ちの未来をつくります!

子ども会は…

異年齢集団による仲間活動を通じて、子どもの全人的な発達を促すために、地域を基盤として組織された団体です。

特に遊びを中心とした体験活動や地域行事への参加を通して、子どもの社会性・協調性・ふるさとを愛する心を育む、社会教育団体・地域活動（まちづくり）団体です。

子ども会が育む2つの力

つながる力 (人間関係力)

コミュニケーションを図り、仲間と生きる力



生きる力 (問題解決能力)

地域や社会の問題を発見し、解決に挑戦する力



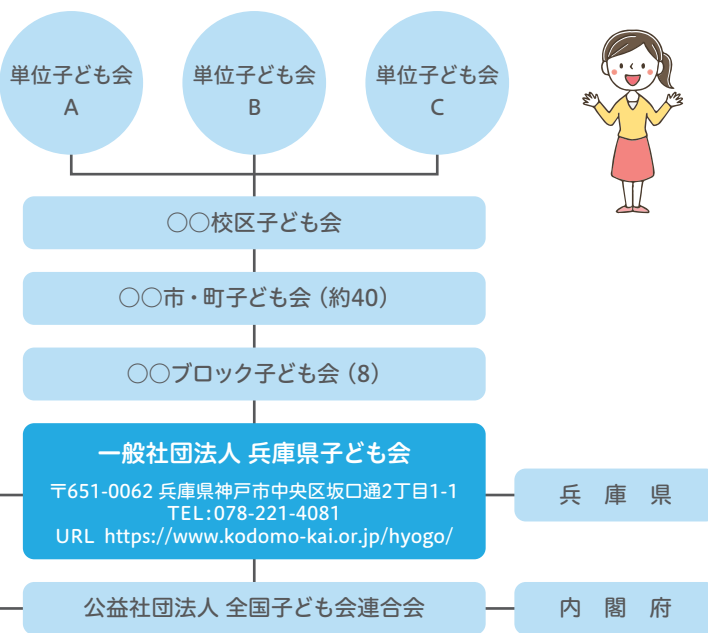
子ども会は こんな組織になっています!

現在兵庫県では、約3,300の単位子ども会が活動しています。そして単位子ども会を支える市・町子ども会（約40）、ブロック子ども会（8）があります。



兵庫県社会福祉協議会

文部科学省（共済制度）



つながり支え合う 仲間づくり



様々な体験活動を通して、子どもたちはたくましく健やかに成長します。地域の組織や団体とつながり、仲間づくりをすることで、子ども会活動が正しく理解され、支援の輪も広がります。

兵庫県子ども会連合会では

子どもたちの体験活動や地域協力の推進のために、助成金やノウハウ提供などの支援を行っています。

子どもたちの成長をサポートする企業とも積極的に連携し、子ども会の活動の場や機会を広げる取り組みにも力を入れています。

子どもたちが安心して活動できるよう、共済金・見舞金や賠償責任保険などの制度を設けています。

詳しくは [兵庫県子ども会連合会](#)

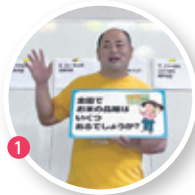
検索

兵庫県でとれたお米8種類を食べくらべ！ 「ふるさと兵庫のお米を知ろう！」

「おいしいごはんを
食べよう県民運動」
(6ページ参照)
の取り組み

丹波篠山市会場

令和4年10月2日(日)
丹波篠山市立四季の森生涯学習センター・
食文化センター・調理室

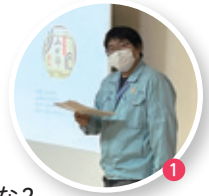


- 1 お米マイスターの川崎恭雄さん
「お米クイズ」でお米の品種の多さにびっくり!!
- 2 炊き立ての新米をしっかりと味わって
- 3 このお米はどんな味かな?



宝塚市会場

令和4年11月23日(水・祝)
ピピアめふ・キッチンスタジオ



- 1 JA兵庫六甲の上殿完さんから
「お米のできるまで」を学びました
- 2 もっちり?しゃっきり?甘味はどうか?
- 3 食べた感想をレポートに記入



日本の伝統の遊び「けん玉」で集中力アップ! 「けん玉にチャレンジ！」

香美町会場

令和4年12月17日(土)
香住文化会館 3階大会議室



- 1 伊丹けん玉クラブ・植西和義さん
から、けん玉の技の手ほどき
- 2 みんなで一緒に、ゲームにチャレンジ!
- 3 全日本チャンピオン・鷲尾英政さんの素晴らしい
パフォーマンス



洲本市会場

令和5年1月22日(日)
洲本市総合福祉会館
多目的ホール



- 1 集中・集中!
- 2 こんな技もあるよ
- 3 親子で色々な技にチャレンジ!



※「ふるさと兵庫のお米を知ろう!」・「けん玉にチャレンジ!」各事業は、公益財団法人兵庫県青少年本部より
助成を受けて実施しています。(ひょうごっ子・ふるさと塾助成事業)



防災特集

いますぐ・できることから「防災対策」

あまちゃ工房 天野 勢津子

阪神・淡路大震災から28年。瓦礫の散乱したでこぼこ道を、ベソかきながら歩くことしかできなかった私が、今年1月に防災の本を出すことができました。自分でもビックリです。

公共図書館や男女共同参画センターなどで、本と関わって20年近く働いてきました。同時に、イラストレーター・ライターの仕事をはじめ、2015年に独立。現在はフリーランスとして、書籍や雑誌、WEBなどで活動しています。「防災の本を出しませんか」とお話をいただいたとき、最初はお断りしました。被災したといっても、自分も家族もみんな無事。家は屋根こそ崩れましたが、住めない状態ではなく、そこまで大きな被害ではない。こんな私が、本を書くなどおこがましいのではないかと。先輩のライターさんに相談すると、「伝えられるスキルをもっている人が、伝える機会をもらったんだから、やったらいいんじゃない」と背中を押ししてもらいました。それと同時に、思い出したことがあります。地震によってタンスが倒れ、下敷きになりかけたとき、運よく対面にあった机が支えになったのです。自分の体験や学んだことを本という形にまとめることは、生かしてもらった命の恩返しにもなるのではないかと思います。

本では、災害が起こる前に備えておくべきことや、知っておきたい知識だけでなく、被災生活についてもページを割いています。非日常が「日常生活」になったとき、どのように体や心を元気に保つのか、なるべく快適に暮らすためのノウハウなど、自分の経験も踏まえて書きました。防災は、家族の誰か1人が、がんばってやればいいものではなく、1人ひとりが、やるべきことです。「災害のデパート」ともよばれる日本では、いつどこで災害に遭うかわかりません。子どもが留守番をしているときに大地震が起こる可能性もあります。子どもに、自分の身を自分で守るスキルを身につ

けさせておいたり、いざというときの集合場所や連絡方法を家族で話し合っておいたりすることは、とても大切です。

ある調査では「自然災害に対する家庭内の備え」が「できていない」と答えた人は45%でした。防災対策を行っていない主な理由は、「何から始めればよいかわからない」「お金がかかる」「準備が面倒」など。たしかに、耐震改修や家具の固定など手間のかかるものもありますが、水や非常用トイレの備蓄などいますぐできる取り組みもたくさんあります。100円ショップには、多くの防災グッズが売られていて、リーズナブルにそろえられます。自分自身の経験からいうと、防災対策をせずに被災すると、生活を立て直すのにかかる時間・労力・金額は膨大なものになります。なにより命が脅かされます。阪神・淡路大震災のときは「備蓄」という言葉すら知らなかった私ですが、あれからいろいろ学び、防災士の資格を取り、少しずつ成長して、人に伝えることができるようになりました。一度にあれもこれもやろうと気負いすぎなくてOK。自分のため、家族のため、いますぐできることから始めましょう。



プロフィール ▶ あまちゃ工房 天野 勢津子

イラストレーター・防災士・兵庫県立図書館協議会委員 神戸市生まれ・西宮市在住
西宮や神戸などの公共施設で司書として働きながら、フリーランスとしての活動をスタート。現在は、イラストレーターとして多様なタッチで挿絵からグッズデザインまで制作する一方、ウェブや雑誌で連載を持つライターとしても活動。阪神淡路大震災で被災した経験を活かし、防災情報をイラストやマンガでわかりやすく伝えている。

著書『イラスト・図解でまるっとわかる! 家族でそなえる防災・被災ハンドブック』(イースト・プレス)
作画『変わるもの 変わらないもの』(ルアナパブリッシング)、『じいちゃん、出発進行』(クリエイツかもがわ) など。





みずからの被災体験をもとに、「ムリせずできる日常防災」を実践、発信されている
あまちゃ工房・天野勢津子さんからメッセージをいただきました。
子ども会での【防災まちあるき】も、地元の方々にご協力をいただき、年々活動の輪が広がっています。



令和4年度 防災まちあるきレポート

加古川市

9月18日(日)

東播磨地区子ども会連絡協議会 会長 原 忠司

会場 加古川市・野口公民館
参加人数 29人 (内スタッフ9名)
講師 渡邊 光弘氏

令和4年9月18日、開催日の天気予報では雨でしたが当日は晴れとなり天候にも恵まれました。昨年と同様に野口公民館での開催となりましたが、どの班も個性的で同じ施設や設備に関心を持ちながら各班独自の解説を行っていました。

参加者は防災、減災の施設や設備など身の回りにある大切な物を再確認する事ができたと思います。

今回参加して自分が住んでいる地域の防災施設や設備はどのようなか改めて調べてみようと考えさせられました。



たつの市

11月6日(日)

西播磨子ども会連絡協議会 会長 佐伯 香

会場 たつの市御津町室津地区、旧たつの市立室津小学校体育館
参加人数 26人 (内スタッフ13名)
講師 たつの市防災士の会会長 田野本 満男氏

令和4年度は北前船の寄港地として日本遺産に認定された御津町室津地区を会場として、『まちの再発見!防災まちあるき』を開催しました。室津地区は海に面していることもあり、東日本大震災の発生後は津波を想定した避難訓練や夜の避難訓練を行うなど、たつの市内でも防災・減災に対する意識の高い地区です。当日は姫路HCCCの協力もあり、参加した子ども達も楽しくまちあるきができました。また、高台にある賀茂神社には非常食の備蓄、港には潮位計測器が設置してあるなど、このまちには災害に対する備えがあることを再発見しました。さらに地元の民生委員の除石さんや駐在所のお巡りさんの貴重なお話で防災・減災の学びを深めました。



丹波市

10月16日(日)

丹波ブロック子ども会連絡協議会 会長 小田 浩正

会場 丹波市・南御油公民館
参加人数 16名 (内スタッフ7名)
講師 兵庫県子ども会連合会 副理事長 七條 勝

まず初めに公民館に入り感じたことは、ハザードマップや子ども会活動の写真等が掲示してあり、自治体としての防災・子ども会活動がしっかりと行われている自治体だなと感じました。当日は、大人チーム・子どもチームの2チームに分かれてまちあるきを行いました。発表時では子ども目線ならではの細かい気づきや、大人目線でのその先にある危険箇所の気づき等の違いも生まれ、終始和気あいあいと楽しくまちあるきを行える事ができました。



宍粟市

12月18日(日)

西播磨子ども会連絡協議会 会長 佐伯 香

会場 宍粟市役所4階会議室、宍粟市山崎町の商店街
参加人数 26名 (内スタッフ10名)
講師 たつの市防災士の会会長 田野本 満男氏

宍粟市は中国縦貫自動車道に沿うように山崎断層があり、大きな地震が発生する可能性を秘めています。また、過去には台風による大きな災害が発生しており、昭和51年の台風17号では、宍粟市一宮(当時は一宮町)で山津波が発生し、下三方小学校が60m流されました。

西播磨のなかでも震災と水害が発生する可能性のある地域で『防災まちあるき』を実施しました。当日は、ぼうさい甲子園で大賞を受賞するなど、防災学習に定評のある地元の兵庫県立山崎高校にもご協力いただき、子ども達とともに防災・減災の学びを深めることができました。また、ケーブルTVのしろうチャンネルの取材や防災士、市議会議員の方々が見学にお見えになられ、この地域の防災意識の高さを感じました。

今後も地域との繋がりを大切に、この活動を継続していきたいと思えます。



※この事業は、「公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構」補助金を財源とする「ひょうご安全の日推進県民会議」の助成を受けて実施しています。

兵庫県では

「おいしいごはんを 食べよう県民運動」

を展開しています。



平成7年1月17日、阪神・淡路大震災。食べ物もなく、不安のどん底にいた被災者を支えたのは、近隣や県内一円の農村から届けられた、たくさんの「おむすび」でした。大都市の近くに農村が配置されていること、そこに豊かな食料が蓄えられていること、そして食料を国内で自給することの大切さを強く認識することになりました。

この震災の経験から、お米の大切さを再認識し、食と農について県民一人ひとりが考えることの重要性を伝えるため、兵庫県では、平成9年に「おいしいごはんを食べよう県民運動」が始まりました。

県民運動が始まって25年、いまでは200を超える団体・企業がお米・ごはん食の普及啓発活動に取り組み、年間100万人以上の皆さまが参加されています。※兵庫県子ども会連合会も会員として活動いただいています



おいしいごはんを食べよう県民運動
詳しくはホームページをご覧ください
<https://www.gokumi.com/>

身近なところから
おいしいごはんを食べよう県民運動
に参加しよう



● ごはんをおいしく炊いてみよう

ちょっとした工夫でおいしく炊けます。
お米の保存も要注意。



● 色々なごはんもつくってみよう

手軽でおいしいレシピも用意しています。
料理コンテストにも参加してみよう。

● 田植えや稲刈りを体験してみよう

稲作体験で農業や農村のことを考えてみよう。
自分で作ったお米はおいしいよ。



● 朝食をごはんにかえてみよう

きちんと朝食を食べて元気に。
忙しい朝でも工夫しだいで簡単に調理できます。

● お米やごはんの講習会に参加してみよう

講習会や料理教室に参加して、
お米やごはんの最新情報をつかもう。



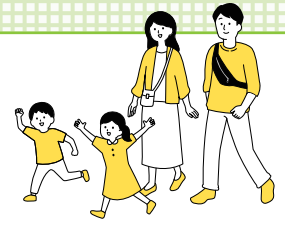
● 米飯給食でごはんについて考えてみよう

学校給食を通じ日本型食生活のよさを知ろう。

【お問合せ先】おいしいごはんを食べよう県民運動推進協議会事務局【兵庫県農林水産部流通戦略課 TEL:078-362-3444】

ひょうごの

お出かけ情報!



NESTA RESORT KOBE ネスタリゾート神戸

さあ、大自然の中に、君を解き放とう。

土にまみれて、大声出して。泣きたいくらいにドキドキして。
「初めて!」がいっぱい詰まったこの1日が、君を大きくするんだ。

小さいお子さんと二人乗りで体験いただける「ワイルド・バギー」や、
大人も子供も楽しめる丘陵を風を切って滑降するアクティビティ「キャニオン・スライド」を始めとして、
家族全員でお楽しみいただける大興奮アクティビティの数々で、丸一日思いっきりはしゃごう。



スカイ・イーグル

天空を悠然と舞う鷲のように…
下界に広がる大自然を見渡しながら、
一直線に上空を飛ぶ!
さあ、あなたも驚くなって空を飛ぼう!
対象年齢: 4歳以上 体重35kg以上



キャニオン・ドロップ

透明の巨大球体の中に入って、
あとは、ひたすら大地のうねりに
身をゆだねる。
初めての無重力、制御できない
遠心力の体験に、理性は一瞬で
吹き飛びます。

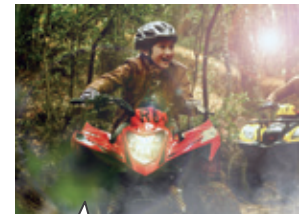


キャニオン・スライド

大地を直に感じながら、爽快地に風を切って、
緑まぶしいみずみずしい芝の斜面を一気に滑走。
その爽快感と興奮に、思わず大声で
笑ったり叫んだり、身も心も解放されます。
対象年齢: 4歳以上

スカイジャングル

家族みんなで楽しめる空中大冒険!
雄大な自然の中、色々なアトラクション
をクリアしながら楽しむ
空中大冒険アクティビティで、4つの
コースで構成されています。
対象年齢: 4歳以上



ワイルド・バギー

大地の起伏をダイレクトに実感
できるスリリングなバギーコース。
むき出しの体に直に響く振動、
ラフな道にハンドルを取られそうに
なりながら、オフロードを走破しよう。
対象年齢: 1人乗り10歳以上
2人乗り同乗4歳以上

4歳未満のお子様ご利用可能施設

- アニマル・フレンズ
 - キッズ・エアジム
 - ネスタイルミナ
 - ワイルド・ハーベスト
- ※有料550円

保護者同伴(1 Dayパス必須)にてご利用いただけます。
グランピング横には小さなお子様向けの
ウッドアスレチック遊具「サンシャインジム」あり



延羽の湯

里山に抱かれて最上のくつろぎを
遊んだあとは「延羽の湯」で。
温泉につかりながら、野鳥のさえずりや、
木々を抜ける風の音を耳にしながら、
心ゆくまでリラックスいただけます。



アクティビティ施設

ご利用上の注意事項

- 1 Dayパスは全ての施設の利用を保証するものではありません。1日の体験人数には限りがあります。各施設、定員数に達し次第ご案内を終了します。
- アクティビティの最終受付は待ち時間により異なります。
- ご利用は同伴者を含めご自身の責任による参加に同意した方に限ります。未成年者(18歳未満)の体験には保護者の同意書のサインが必要です。
- 小学生以下の体験には保護者の同伴が必要です。

NESTA RESORT KOBE (ネスタリゾート神戸)

【住 所】兵庫県三木市細川町垂穂894-60

【アクセス】阪神高速32号新神戸トンネル 箕谷JCTから約17km
JR三ノ宮駅より直通バスが便利です(約40分)

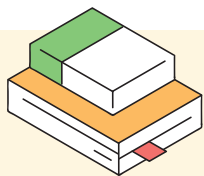
詳しくは

ネスタリゾート神戸

検索

<https://nesta.co.jp>





兵庫県立図書館だより



1 ビブリオバトル高校生大会を開催しました！

甲子園球場では、連日高校球児の熱戦が行われていますが、県立図書館でも1月29日、県内の読書好き高校生28名が参加するビブリオバトル大会を開催しました。これは、参加者が読んで面白いと思った本を持ち寄り、限られた時間でその面白さを紹介。最後にどの本が一番読みたくなったかをみんなの投票で決める“書評合戦”です。コロナ禍での日頃の思いを吹き飛ばす、密度の濃い青春の一日となりました。選ばれたチャンプ本は鳴尾高校2年中藤立惺さん紹介の「ロリータ」(ウラジミール・ナプロフ著)、準チャンプ本は白陵高校1年野村多真希さん紹介の「夜が明けたら、いちばんに君に会いに行く」(汐見夏衛著)です。好きな本は人それぞれ、1冊の本があればいつでもどこにでも自由に羽ばたけます。日常生活に制約の多い今の時代、読書の魅力は尽きませんね。



2 令和5年度も県立図書館をよろしく！

図書館から見える明石公園の桜も、まさに見頃を迎えています。4月から始まる令和5年度も、図書館では皆様に楽しんでいただけるさまざまな展示やイベントを用意しています。子どもと一緒に学べる「子ども子育て資料室」には小学生、中高生による“森”をテーマにした創作童話コンテスト「KOBELCO森の童話大賞」受賞作品も展示中。夏からは「図書館夏まつり」や「しょくぶつ探検」など、子ども向け企画も展開します。もちろん連続歴史講座やひょうご五国の紹介展示など大人向け企画も多数用意しています。新たにパソコン、スマートフォンでどこでも読書が楽しめる電子書籍の利用も始めます。詳細が決まり次第、順次当館ホームページでもお知らせします。ご期待ください！



開館時間 9:30~18:00

休館日 毎週月曜日・毎月第3木曜日・年末年始(12月29日~1月3日)
特別整理期間(6月頃1週間程度)

アクセス JR明石駅、山陽明石駅で下車、北へ800メートル(明石公園内)
当館に専用駐車場はありません。お車でお越しの際は、公園内または近隣にある有料駐車場をご利用ください。

ホームページ

Facebook

Twitter



子どもeye

阪神・淡路大震災から28年、東日本大震災から12年。時の流れとともに「記憶の風化」という言葉をよく耳にします。辛く苦しい記憶は風に流しても、震災から得た経験・教訓は語り継がれ、「もしも…」の事態に活かされてほしい。そんな思いで「育成会ノートvol.112」をつくりまし

た。各地の防災まちあるきでは、日常に潜む危険とともに、避難所・備蓄といった災害への備えも学び子どもたち。こうした経験を通して、地域の繋がりを大切に、「自分の身は自分で守る」逞しい意識が育まれることを願っています。